

「それ行け、レスキュー隊！」「はしのうえのおおかみ」

★教科、道徳でのエクササイズ★

長野県箕輪町立箕輪中部小学校 原 一宏

ねらい 友の思いやりに気付き、友達を信頼すること、親切にすることのよさを体感し、相手を思いやることの大切さがわかる

場所・形態・時間・準備 体育館及び教室/80分/コーンポスト、踏み台など

参考文献 『エンカウンターで学級が変わる Part 2 小学校編』國分康孝監修（図書文化）の「それ行け、レスキュー隊！」

『わたしたちのみち1』道徳資料副読本（信濃教育会出版部）の「はしのうえのおおかみ」

1 活動の構想

「それ行け、レスキュー隊！」(40分) 特活

① インストラクション (6分)

○ゲームについての説明をする。

1年生にはレスキュー隊についてわからないところもあるので説明する。

② エクササイズ (12分×2回役割交代)

○患者さんとレスキュー隊員に分かれる。

○先生の「火事だあ」の合図でスタート。

③ シェアリング (10分)

○感じたこと、気付いたことについてシェアリングする

(続けてやってもよいし、別の日に設定してもよい)

「はしのうえのおおかみ」(40分) 道徳

(1) 友達に親切にしてもらって「うれしいな」と思ったことを発表する。

(2) うさぎやたぬきたちを追い返した、おおかみの気持ちを考える。(役割演技)

(3) くまに親切にもらったおおかみの気持ちを考える。

(4) 次の日、うさぎを渡らせてあげたおおかみはどんな気持ちだったか考える。

2 指示・留意点

① 「それ行け、レスキュー隊！」というゲームをします。皆さんはレスキュー隊ってしているかな？火事や事故が起こった時に人の命を助ける人のことです。赤帽子の人は患者さん、白帽子の人はレスキュー隊員です。病院と安全地帯に分かれましょう。

○素早く移動させる。○身体接触の抵抗を事前に弱めておく。

② レスキュー隊は相手を大事に運ぶためにはどんな運び方をすればよいか相談しましょう。患者さんは、どこが病気になって、動かないかしっかり伝えましょうね。いろいろな病人（けが人）を相談して決めましょう。

○あらかじめ安全地帯と病院の間に安全で、子どもたちにも乗り越えられる障害物（コーンポストや必ず通らなければならない踏み台）等を用意しておく。

③ 集まりましょう。今日の活動を振り返って、「感じたこと」「気付いたこと」を発表しましょう。

○話している友達の方を向かせ、話を聴かせる。

③ 友達の言ってくれたことを大事にして、役割を交代しましょう。

○感じたこと、気付いたことを大切にしながら、役割を交替させる。

「はしのうえのおおかみ」(40分) 道徳

(1) 友達に親切にしてもらって嬉しいなと思ったことありませんか？

○自分の体験を重ねて、思い返させる。

(2) うさぎやたぬきたちを追い返しましたよね。そのときのおおかみさんはどんな気持ちだったんだろうね。

○役割演技でおおかみの気持ちになって考えさせる。(うさぎやたぬきについても)

(3) くまに親切にもらったおおかみは、心の中でどんなことを思っていたんだろうね。(中心発問)

○資料の吹き出しを使って考えさせる。

(4) 次の日、うさぎを渡らせてあげたおおかみは、心の中でどんなことを思っていたのでしょうか。

○資料の吹き出しを使って考えさせる。

3 指導の実際

① 指導時数

「それ行け、レスキュー隊！」(40分) 特活

「はしのうえのおおかみ」(1時間) ……道徳
○特活と道徳を組み合わせ、体で体感したことを生かせば、「道徳」の授業もかなりねらいに迫れると考えた。

② 指導の実際

「それゆけ、レスキュー隊！」(40分) 特活

① (インストラクション) 「それ行け、レスキュー隊！」というゲームをします。皆さんはレスキュー隊ってしているかな？火事や事故が起こった時に人の命を助ける人のことです。赤帽子の人は患者さん、白帽子の人はレスキュー隊員です。1・2・3班は最初にレスキュー隊をやりましょう。レスキュー隊のいるところが安全なので、安全地帯としておきます。「4・5・6班は患者さんです。患者さんは病院にいます。病院が火事になってしまいますよ。それでは、病院と安全地帯に分かれましょう。」(5分)

② (エクササイズ) レスキュー隊の皆さんは、患者さん達を安全に運ぶためにはどういう風に運んだらよいか相談しましょう。患者さん達は全身が動けないとか、片方の足が動かないとか、いろいろな病気やけが人を相談して考えてみましょうね。時間は2分間です。よーい。はじめ。



どうやって運ぼうかな

ハイイやめて。じゃあいきますよ。「火事だあ」

・子どもたちは喜んで、スタート。患者さんにごとかが痛いかきいている子、台を慎重に上り下りする子。見ていて頼もしい。



早く運ばないと 大変だ!



手をかして!



よいしょ よいしょ!

③ (シェアリング) ハーイ。集まりましょう。感じたこと、気付いたことを発表しましょう。



患者です…。早く助けて

- ・〇〇さんが大事に僕を持ってきてくれて嬉しかった。
- ・いつまで待っても運んでくれなくて、でも、最後に大勢のレスキュー隊が来て運んでもらった時は嬉しかった。

④役割を交代してやりましょう。(役割を交代②～③をする)

「はしのうえのおおかみ」(40分) 道徳
(1)(2)の後、(3)くまに親切にしてもらったおおかみは、心の中でどんなことを思っていたんだろうね。

- ・もっと親切にすればよかったな。



「はしのうえのおおかみ (奈街三郎作)」
『わたしたちのみち 1』(信濃教育会出版部刊より)

- ・くまさんやさしいな。
- ・くまさんえらいな。
- ・今度から、優しくしてあげよう。
- ・威張っていて恥ずかしいな。威張らないようにしたいな。

(4) 次の日、うさぎを渡らせてあげたおおかみは、心の中でどんなことを思っていたのでしょうか。



「はしのうえのおおかみ (奈街三郎作)」
『わたしたちのみち 1』(信濃教育会出版部刊より)

- ・親切にできてよかったな。
- ・もっと優しくしたいな。
- ・今日から渡らせてあげよう。
- ・優しくできてよかったな。
- ・世界中の人に優しくしたいな。

〈考察〉

「それ行け、レスキュー隊!」は役割を交代しながら、1回のみではなく、2回、3回と継続して体験させていくと効果的と思われる。本学級でも「もう少し協力したい」「どうしてあの時、あんなに時間がかかったのだろうか」「そうだ、一番重症の患者さんから先に、友達とチームを組んで運んでやると早い」等の気付きが出てきた。「相手を思いやって、親切にすることのよさ」「友達から支えてもらう心地よさ」「協力してやることの大切さ」を体で感じ取ることが出来た。

友達とのふれあい体験を日頃から大事にしてきていたので身体接触到抵抗を示す子はいなかった。「握手する」「じゃんけんする」等簡単にできるものから取り組ませたい。

子どもたちの表情も柔らかく、よい表情をしていた。心が解放している状態で、自分が友達の役に立っていることを実感的にとらえていくために、「それ行け、レスキュー隊!」のSGEは非常に有効的であった。

「それ行け、レスキュー隊!」のSGEの後、「はしのうえのおおかみ」の道徳の授業を行った。(7月)時期としては少し早い気もしたが、友達の優しさや親切することのよさを体で感じた子どもたちにとっておおかみの気持ちになりきって自分を語り始める子が多かった。

このように、SGEと道徳を関連付けて授業を組み立てていくことが自分を見つめていくきっかけとなり、自分の体験に裏打ちされた気持ちが出やすいと思われる。

今後、さらにこうした取り組みを実践していきたい。